

がん検診研究助成事業 シンポジウム—オンライン—

8/28 水
15:00~16:30

採択された研究内容を紹介 がん検診の現状と課題に迫る

公益財団法人日本対がん協会は2023年度に、がん検診の向上を目指した研究助成事業を開始しました。今年度も公募を始めています。昨年度に採択された研究内容について、各研究者が詳細を説明し、総合討論では、研究テーマの背景にあるがん検診の課題を探ります。

がん検診研究助成事業のサイト (https://www.jcancer.jp/screening_grant/)



PROGRAM

15:00—15:05

開会挨拶

「2024年度がん検診研究事業について」

日本対がん協会常務理事 石田 一郎

15:05—15:15

基調報告

「がん検診の現状と課題、対がん協会のがん検診数の推移から」

日本対がん協会 がん検診研究グループマネジャー 服部 尚

15:15—16:30

報告

司会=加藤元嗣・北海道対がん協会会長、服部尚マネジャー

・講演

講演①

「血中DNA Palindrome配列発現解析による乳癌早期発見法の開発」

順天堂大学 乳腺腫瘍学講座 客員准教授 猪狩史江氏

・総合討論

講演②

「AIがマンモグラフィ検診にもたらす影響：受診者の視点からの分析」

東京医科歯科大先端人工知能医用画像診断学講座准教授 藤岡友之氏

・質疑応答

講演③

「胃がん内視鏡検診でのAI併用はダブルチェックの代替えになるかの検証」

北海道対がん協会会長 加藤元嗣氏

講演④

「医療過疎地における大腸カプセル内視鏡を用いた大腸がん二次検診の可能性」

岐阜大学医学部地域腫瘍学特任助教 大西祥代氏

講演⑤

「知的障害者の低いがん検診受診率をモニタリングする方法の検討」

岡山大学病院精神科神経科助教 藤原雅樹氏

お申し込み

下記URLまたは右記二次元コードよりお申し込みください

<https://ws.formzu.net/dist/S84092175/>

